

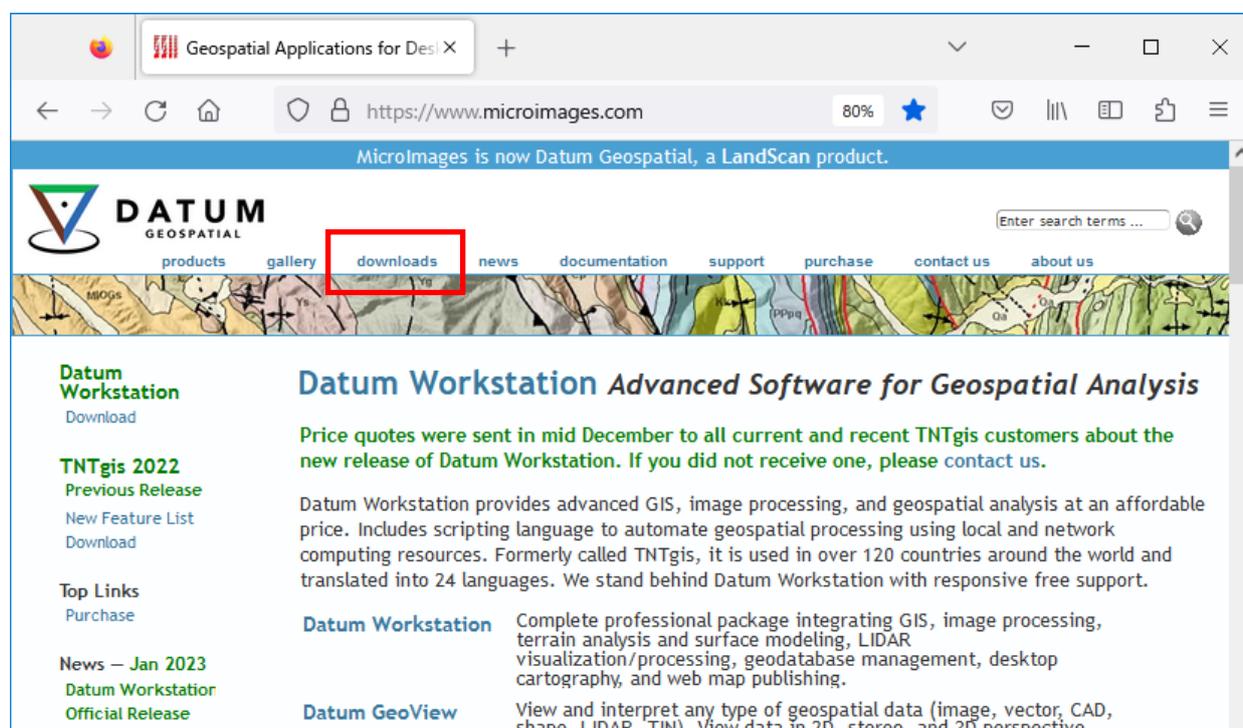
# Datum ワークステーション(旧 TNTmips) インストールガイド

## Windows 11/10 (暫定版)

OpenGIS 2023.7.6

### 1. ダウンロード

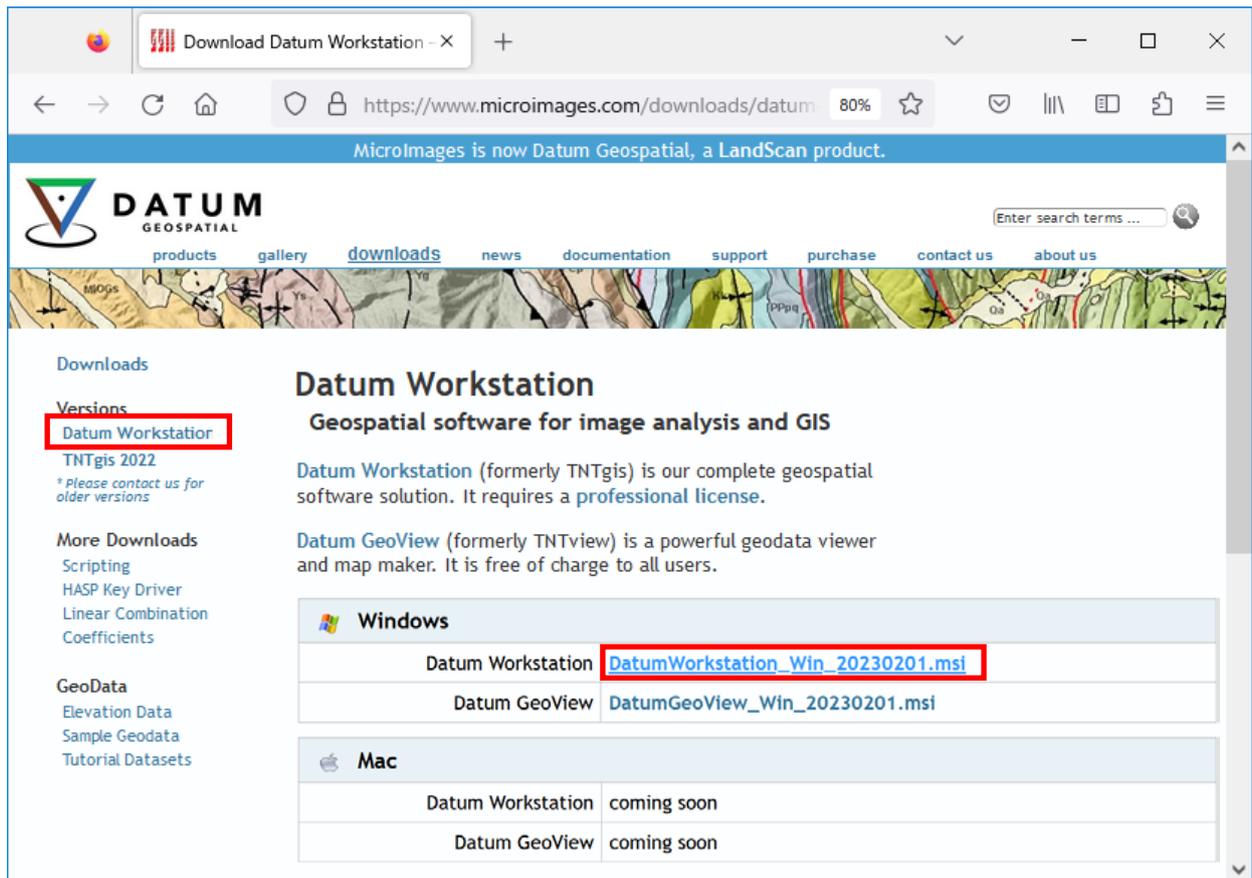
<https://www.microimages.com/> にアクセスします。



ダウンロードのページに行き、対応する OS のインストールファイルをダウンロードし保存します。

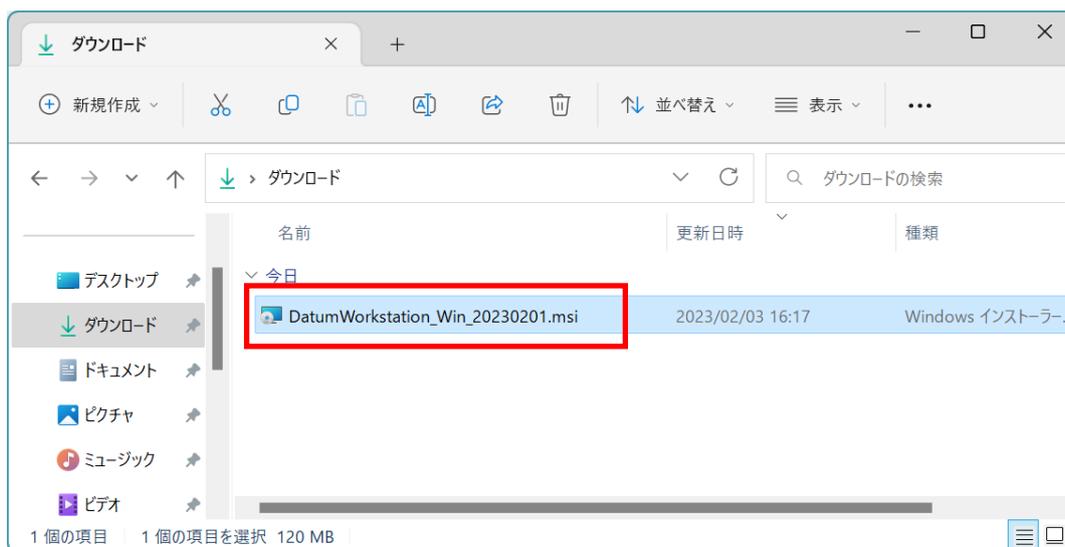
<https://www.microimages.com/downloads/index.htm>

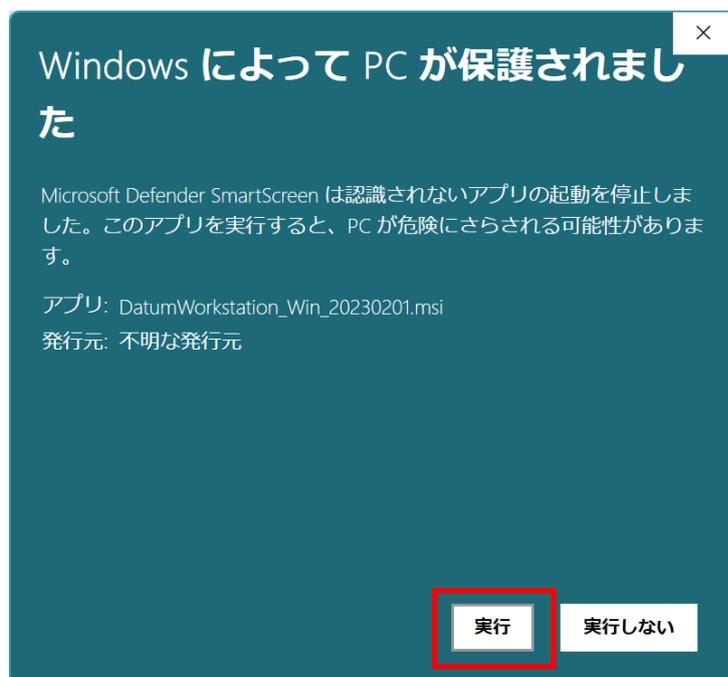
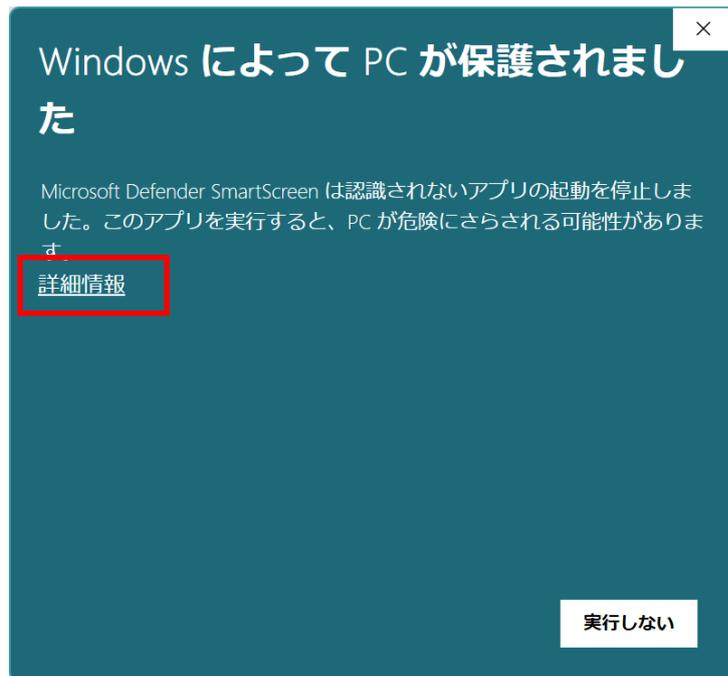
インストールファイル名は更新日で変わります。



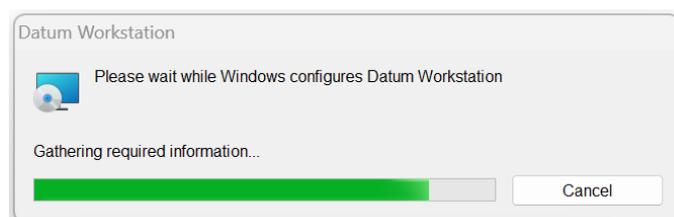
## 2. インストール

ダウンロードしたインストールファイルを実行します。



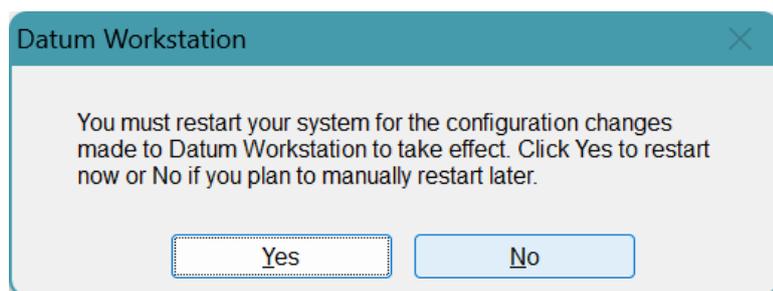


この後、ユーザーアカウント制御の画面が出た場合、実行を許可して先へ進みます。



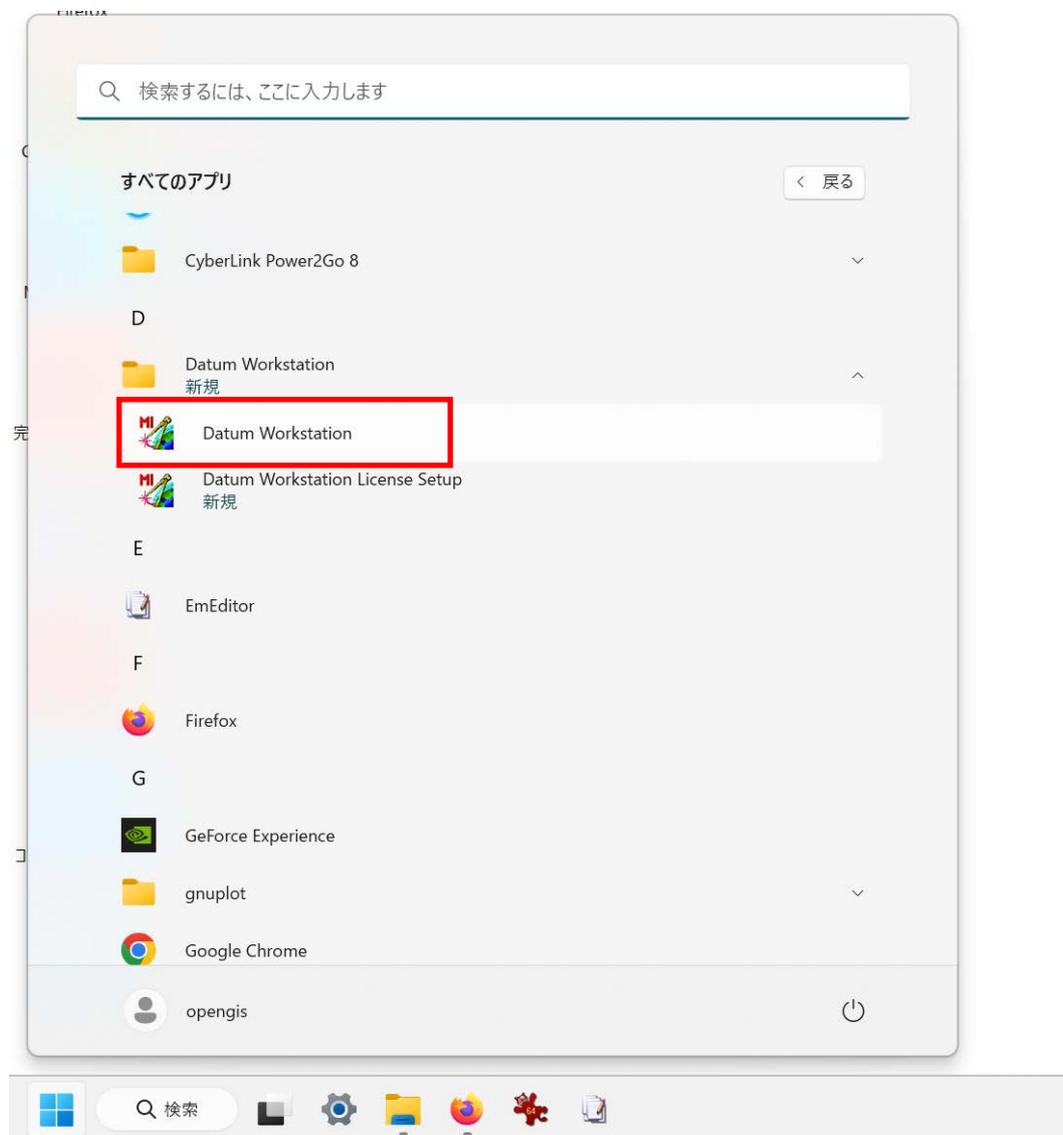
プログレスバーの表示が消えたらインストールは完了です。(終了のメッセージ等は出ません)

OS の再起動が要求されることがあります。その場合は後で再起動してください。

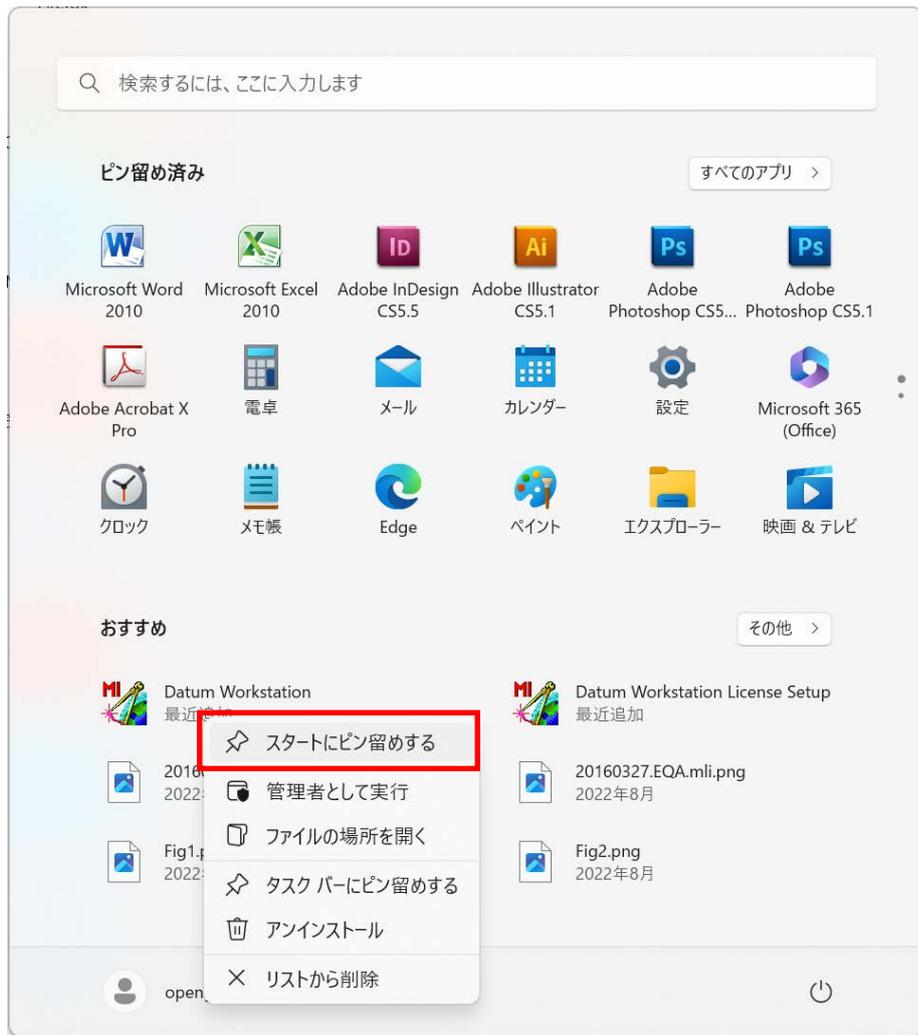


### 3. 起動とライセンスの設定

スタートボタン > すべてのアプリ > Datum Workstation の中の”Datum Workstation”を起動します。



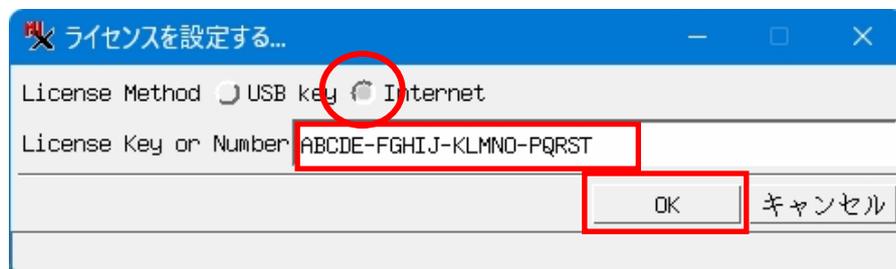
ピン留めするときには、右クリックメニューから。



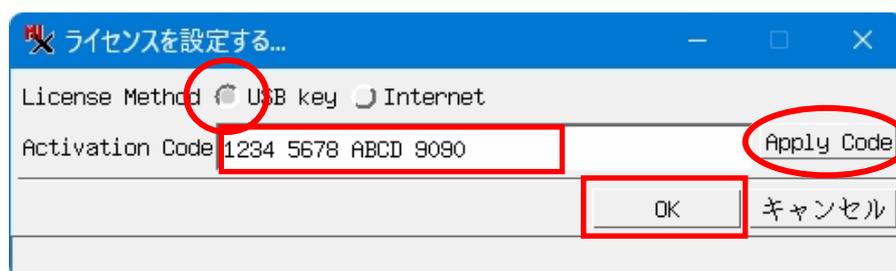
Datum ワークステーションを初めて起動したときにライセンス設定画面が表示します。

購入済みの E ライセンスコードを入力してください。

試用版ライセンスの場合もこちらで設定します。



TNTmips から継続利用の USB キーでのライセンス認証の場合

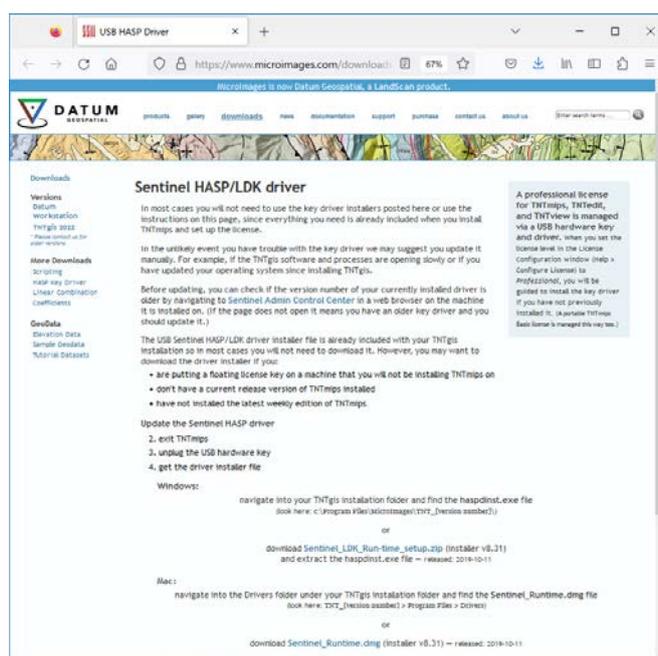


DW サブスクリプション用認証コードを入力 > [Apply Code] > [OK]

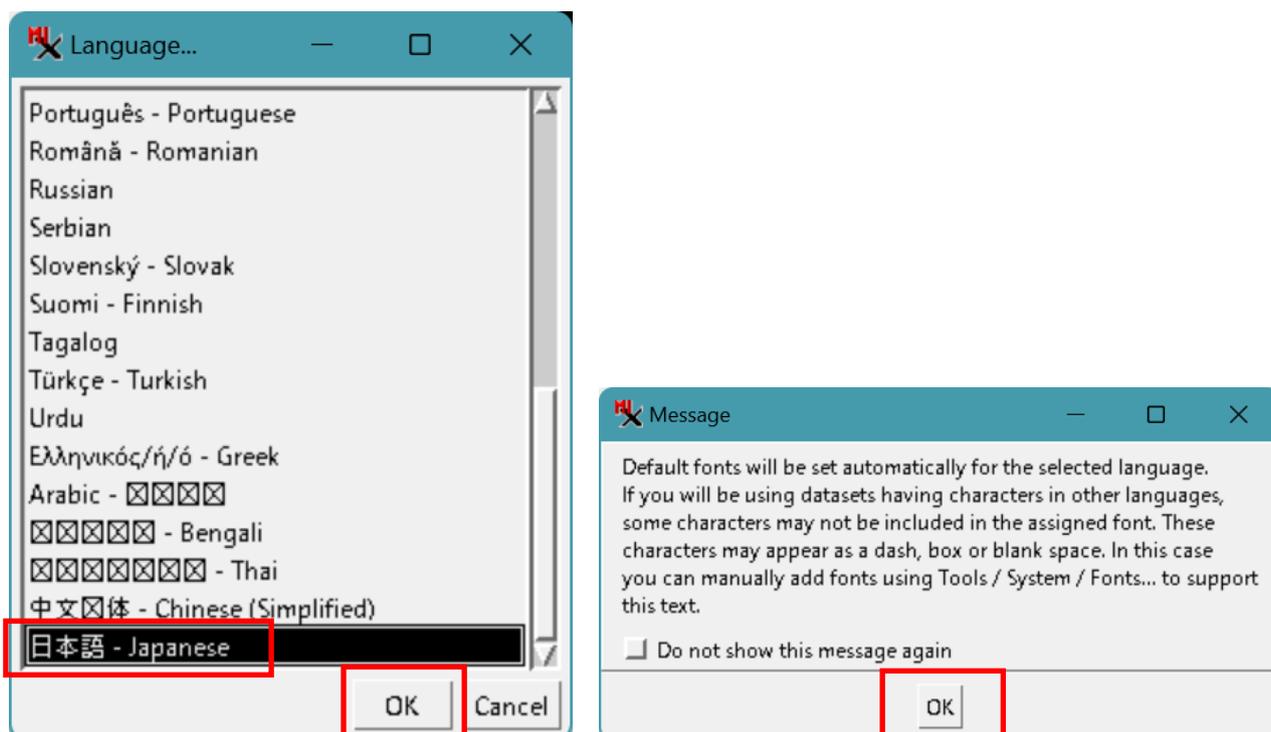
USB キーライセンス版の TNTmips を使用したことのない PC で、初めて Datum ワークステーションをインストールした場合は、先に USB キー用ドライバのインストールが必要です。USB キーを PC に接続する前に、下記サイト <https://www.microimages.com/downloads/haspDriver.htm>

より Sentinel HASP/LDK driver をダウンロードしてインストールして下さい。

ドライバをインストールする前にキーを挿すと自動的に別のドライバが当たってしまい正常に認識されなくなります。



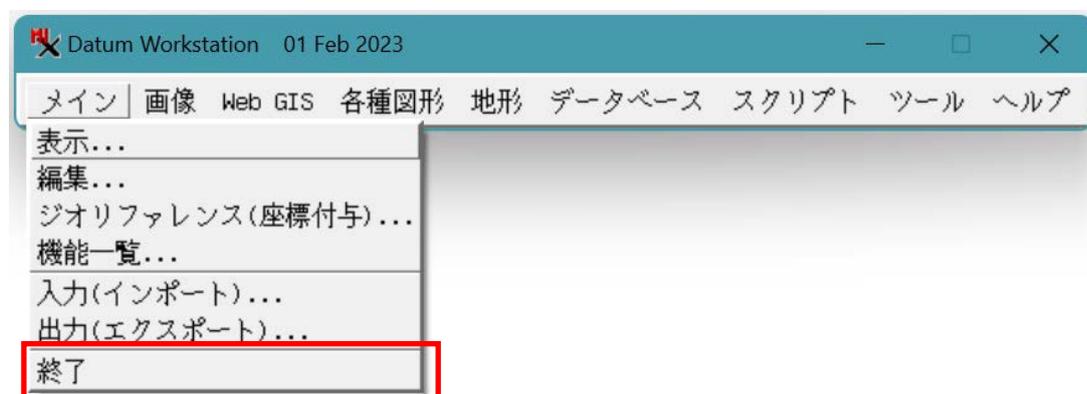
UI の言語設定画面が開きます。日本語を選択できます。



メニュー画面が起動します。



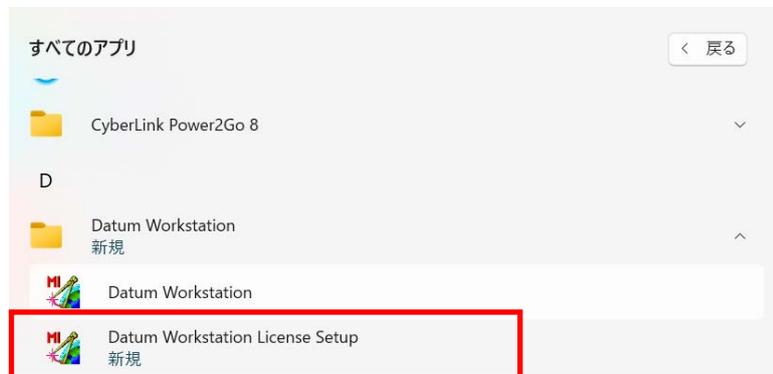
メニューの終了は [メイン] > [終了] です。



#### 4. ライセンス設定画面の出し方

スタートメニュー > すべてのアプリ > DatumWorkstation

> DatumWorkstation License Setup を起動します。

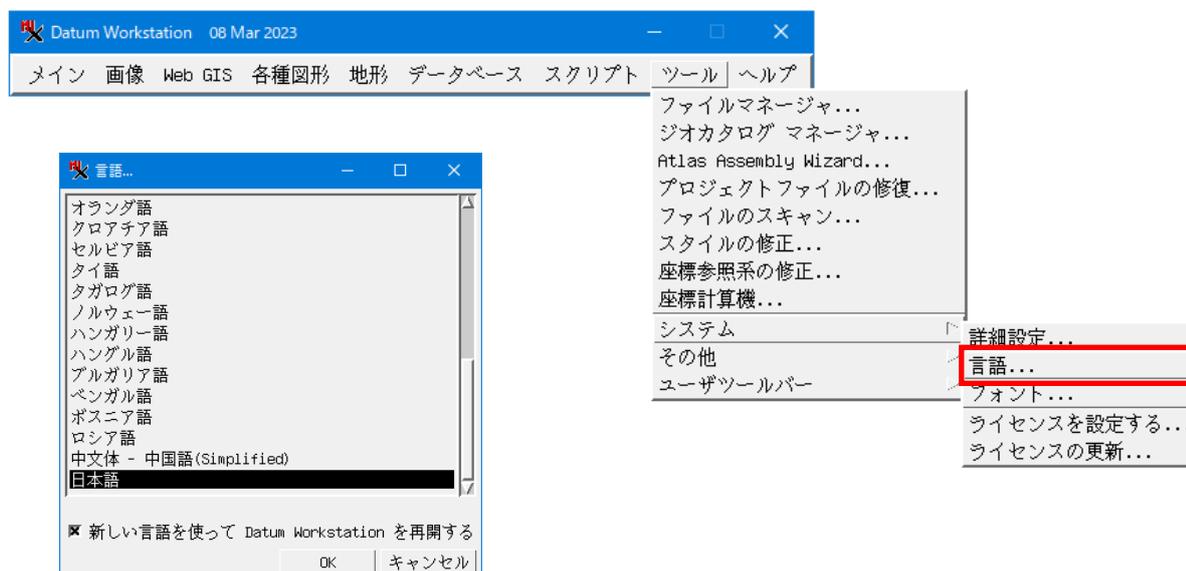


もしくは、Datum ワークステーションメニューの [ヘルプ] > [ライセンスを設定する]



#### 5. 言語設定画面の出し方

[ツール]>[システム]>[言語] から UI の言語を変更できます。

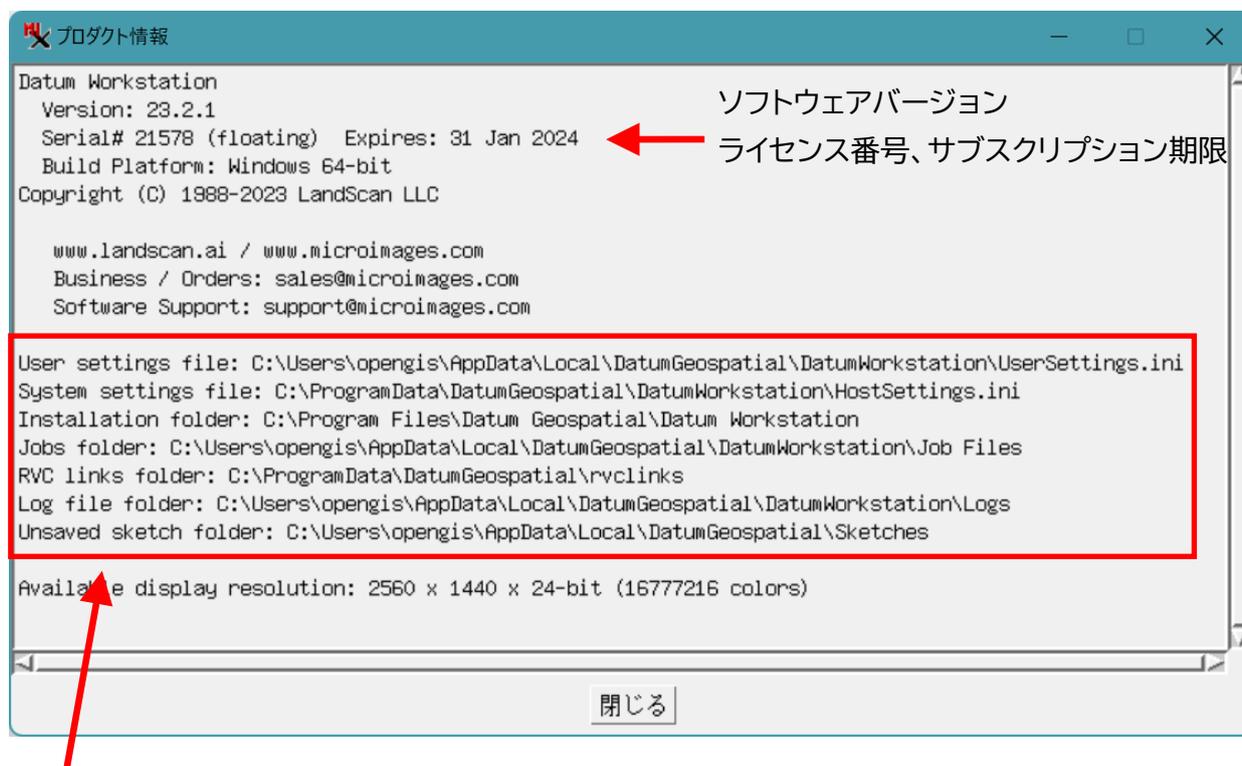


## 6. プロダクト情報

[ヘルプ] > [About...]



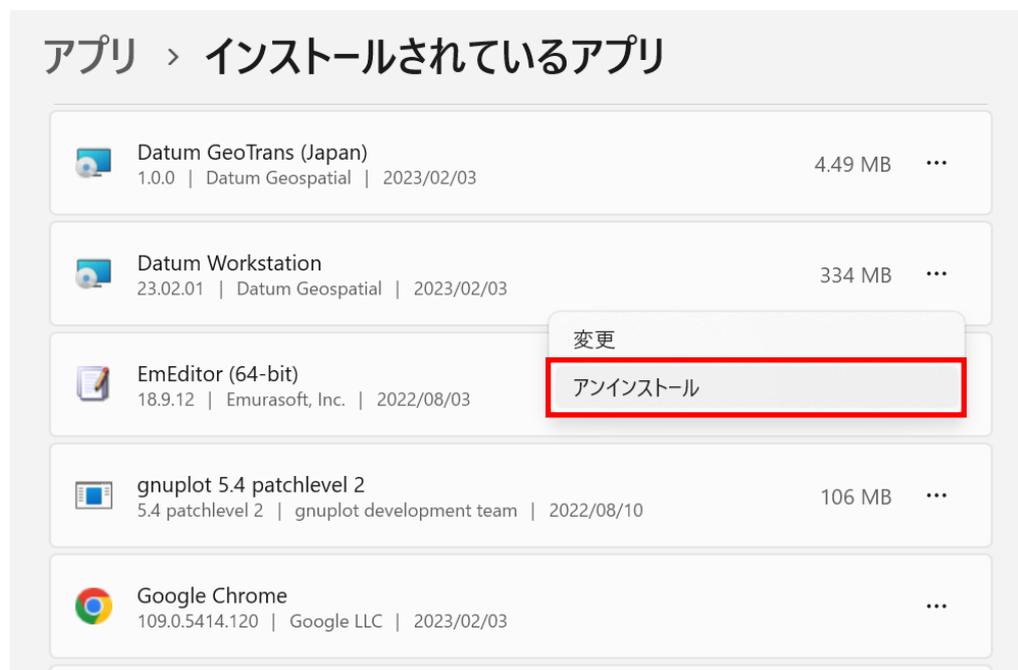
プロダクト情報が参照できます。お問い合わせの際は、ここでバージョンとライセンスシリアル番号をご確認の上お伝えください。



設定ファイルのパス

## 7. Datum ワークステーションのアンインストール

「設定」から「アプリ」を選択します。

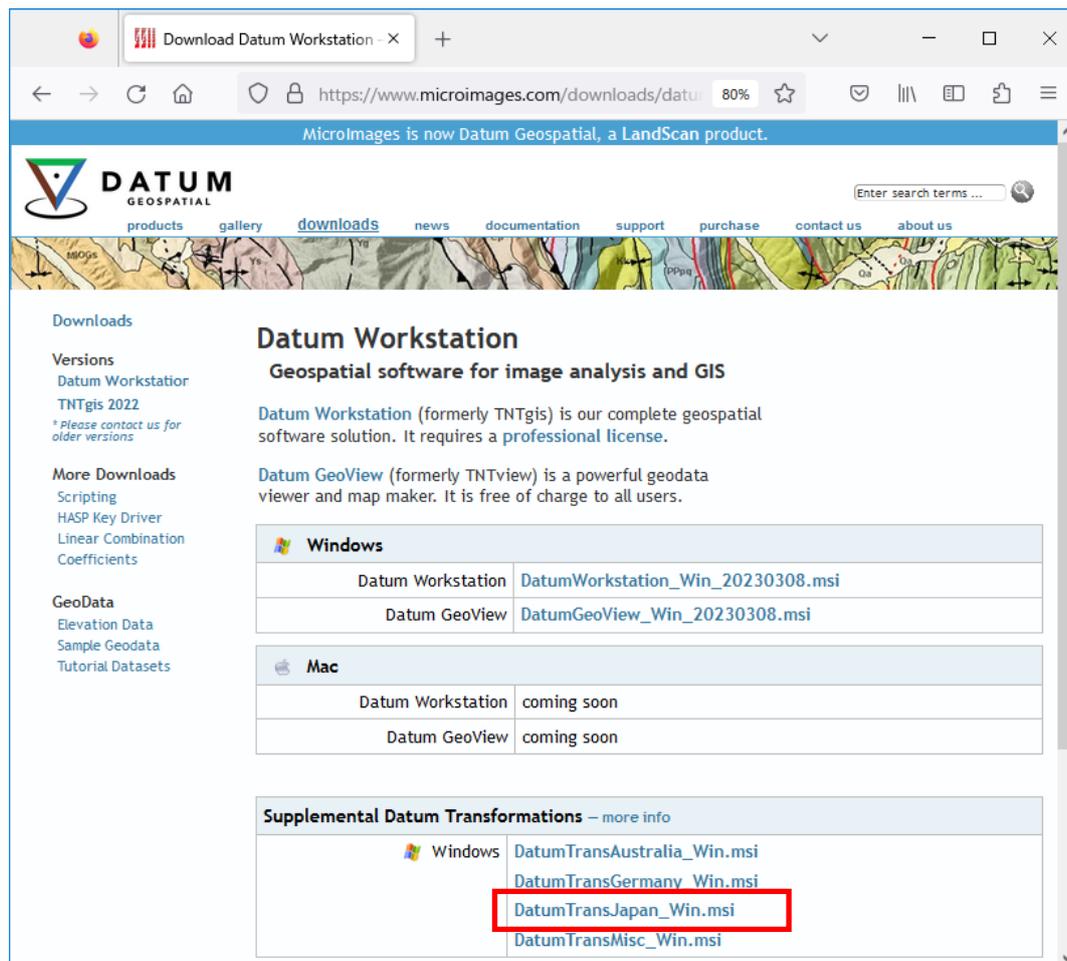


Datum Workstation のアンインストールを選択します。

## 8. Datum 変換パラメータファイル

TNTgis V2018 から、Datum 変換パラメータファイルは、必要に応じてユーザーが別途インストールする方式に変更されました。(V2017 まではプログラム本体のファイルに含まれていました)

ジオデータオブジェクトが正しく重なって表示されない場合は、Datum Transformations をインストールすると解決します。現在問題が出ていないユーザーもインストールしておくことをお勧めします。



The screenshot shows the Datum Geospatial website. The main content area is titled "Datum Workstation" and "Geospatial software for image analysis and GIS". It lists two main products: Datum Workstation (formerly TNTgis) and Datum GeoView (formerly TNTview). Below this, there are tables for Windows and Mac downloads. The Windows section lists Datum Workstation and Datum GeoView with their respective MSI files. The Mac section lists Datum Workstation and Datum GeoView as "coming soon". At the bottom, there is a section for "Supplemental Datum Transformations" with a table listing Windows MSI files for Australia, Germany, Japan, and Misc. The "DatumTransJapan\_Win.msi" file is highlighted with a red box.

Windows	
Datum Workstation	<a href="#">DatumWorkstation_Win_20230308.msi</a>
Datum GeoView	<a href="#">DatumGeoView_Win_20230308.msi</a>

Mac	
Datum Workstation	coming soon
Datum GeoView	coming soon

Supplemental Datum Transformations – more info	
Windows	<a href="#">DatumTransAustralia_Win.msi</a>
	<a href="#">DatumTransGermany_Win.msi</a>
	<a href="#">DatumTransJapan_Win.msi</a>
	<a href="#">DatumTransMisc_Win.msi</a>

日本用は DatumTransJapan\_Win.msi をダウンロードしてインストールします。

Datum ワークステーションから参照する.gsb ファイルおよび .ref ファイルはデフォルトでは下記フォルダにあります。

C:¥ProgramData¥DatumGeospatial¥DatumTrans